



Multi Pro® WM ターフスプレーヤ仕上げキット

マニュアルミッション Workman® 汎用作業車用

モデル番号131-3302

取り付け要領

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。
米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとしてされております。

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	駆動シャフトシールド・ブラケット	1	スプレーヤのポンプに駆動シャフトシールドを取り付ける
2	PTO駆動シャフト 半月キー 固定ネジ 駆動シャフトシールド クリップ フランジヘッドボルト 1/4 x 3/4 インチ	1 1 2 1 2 2	スプレーヤポンプにPTOシャフトと駆動シャフトシールドを取り付けます。
3	油圧ホース 5/8 x 55.6 インチ 油圧ホース 5/8 x 85.2 インチ クイックコネクタオス クイックコネクタメス チューブ・クランプ クランプボルト 5/16 x 1-1/2 インチ ケーブルタイ	1 1 1 1 2 1 3	油圧ホースをブーム昇降シリンダに接続します。
4	必要なパーツはありません。	—	PTOシャフトをトランスアクスルに接続します。

注 このキットを取り付ける前に、ワークマンから荷台ボックスや平床を外してくださいワークマンのオペレーターズマニュアルを参照。

注 TC モデルでないワークマンの場合、このキットを取り付ける前に後PTOキットを取り付ける必要があります。代理店にご相談ください。



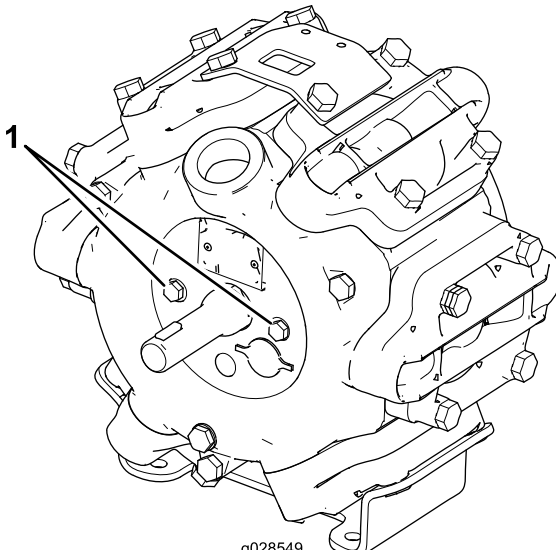
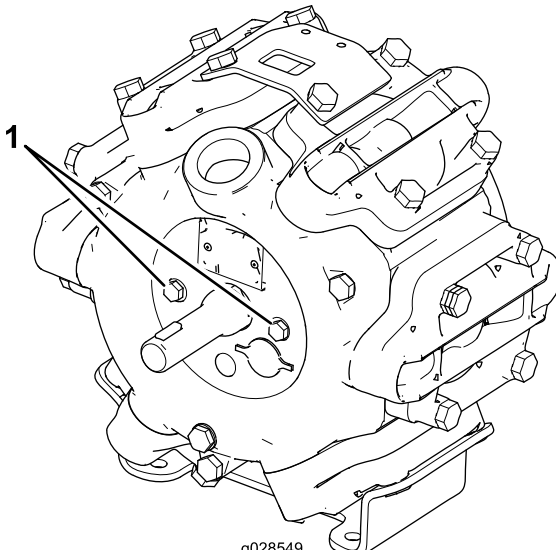
1

スプレーヤのポンプに駆動シャフト トシールド・ブラケットを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	駆動シャフトシールド・ブラケット
---	------------------

手順

1. スプレーヤポンプの入力シャフトの左右についているボルト2本を外す   図 1。

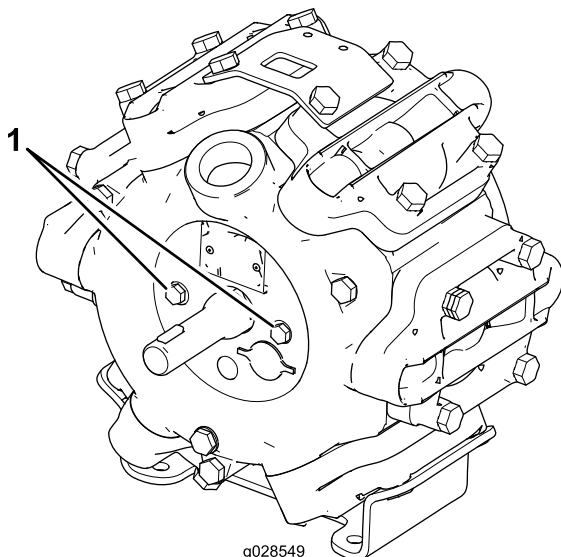
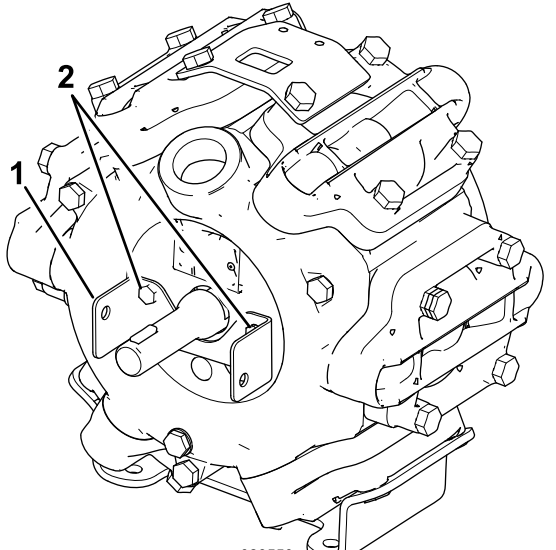


図 1

1. ボルト

2. ボルトのねじ山に中程度の強度のロックングコンパウンドを塗りつける。
3. ステップ1で外したボルト2本を使って、駆動シャフトシールド・ブラケットをスプレーヤポンプに、 図 2に示すように取り付ける。

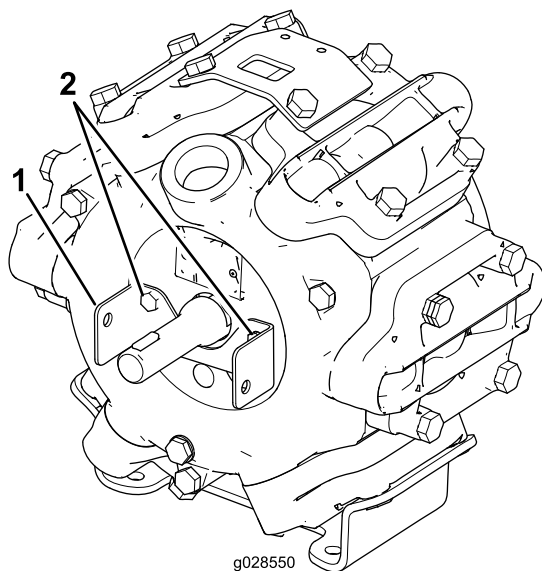


図 2

1. 駆動シャフトシールド・ブラケット
2. スプレーヤポンプから外したボルト

4. ボルトを23-26 N・m 17-21 ft-lb = 9.3-11.5 kg・mにトルク締めする。

2

スプレーヤポンプにPTOシャフトと 駆動シャフトシールドを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	PTO駆動シャフト
1	半月キー
2	固定ネジ
1	駆動シャフトシールド
2	クリップ
2	フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ

手順

1. スプレーヤポンプのシャフトのキー溝に半月キーを入れる。

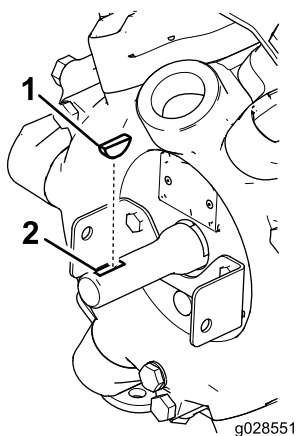


図 3

1. 半月キー

2. スロット

2. ポンプのシャフトと半月キーに、固着防止コンパウンドを塗布する。
3. PTOシャフトの端部についている固定ねじ2本を外す 図 4。

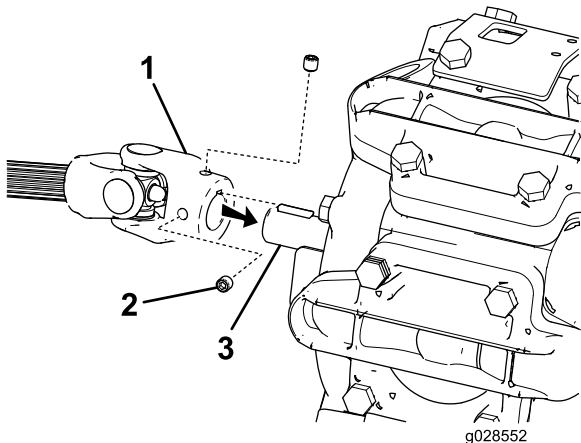


図 4

1. PTO シャフトの端部

3. スプレーヤポンプのシャフト

2. 固定ねじ2本

4. PTOシャフト端部の固定ねじ2本のねじ山部分に中程度のロックングコンパウンドを塗りつける。
5. PTOシャフトのカップラのスロットを半月キーに合わせ、PTOシャフトをスプレーヤポンプに挿入する 図 4。
6. PTOシャフトのカップラの固定ねじを締め付ける。
7. シールドサポートブラケットに、駆動シャフトシールドを取り付けるフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ2本とクリップ2個を使用する 図 5。

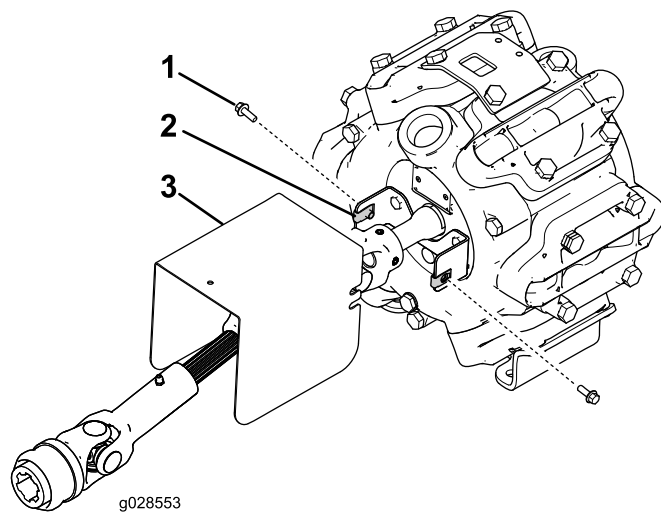


図 5

1. フランジヘッドボルト2本

3. 駆動シャフトシールド

2. クリップ2

3

油圧ホースをboom昇降シリンダに接続する

この作業に必要なパーツ

1	油圧ホース 5/8 x 55.6 インチ
1	油圧ホース 5/8 x 85.2 インチ
1	クイックコネクタオス
1	クイックコネクタメス
2	チューブ・クランプ
1	クランプボルト 5/16 x 1-1/2 インチ
3	ケーブルタイ

手順

注 タンクスキッドがシリンダロックで確実に支えられていることを確認する。

注 センターboomが取り付けられていることを確認してください。取り付け方法はスプレーヤの 取り付け要領書を参照。

1. 図 6 に示すように、オスのクイックコネクタカップラをホース3/8 x 79-1/2 インチに組み付けるカップラを37 - 45 N·m (3.7 - 4.6 kg·m = 27 - 33 ft·lb) にトルク締めする。

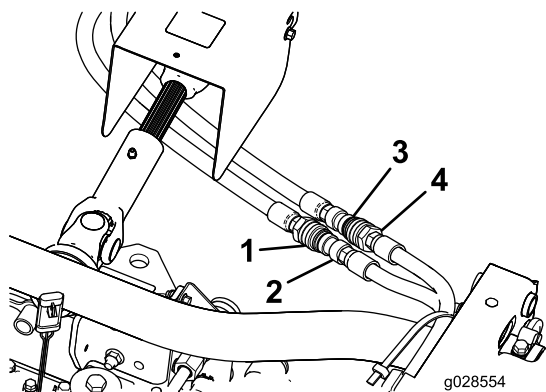


図 6

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. ホースのメス側 | 3. ホースのオス側 |
| 2. クイックコネクタ オス | 4. クイックコネクタ メス |

2. 図 6 に示すように、メスのクイックコネクタカップラをホース 3/8 x 56-1/2 インチに組み付けるカップラを 37 - 45 N・m (3.7 - 4.6 kg・m = 27 - 33 ft-lb) にトルク締めする。
3. 図 7 に示すようにホースを配設して固定するケーブルタイ、チューブクランプ、クランプボルトを使用する。

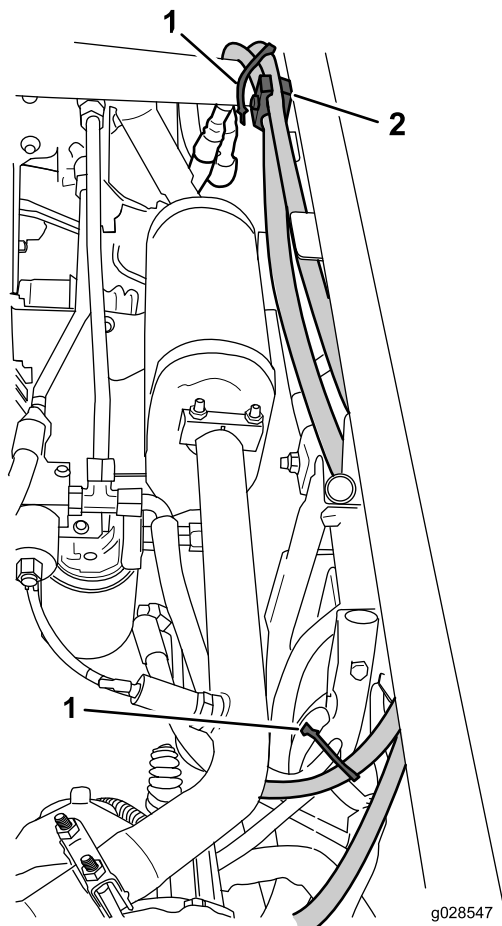


図 7

- | | |
|-----------|---------------------|
| 1. ケーブルタイ | 2. チューブクランプとクランプボルト |
|-----------|---------------------|

4. トランスミッションオイルフィルタの隣にある油圧チューブについているT字フィッティングからキャップを外す 図 8。

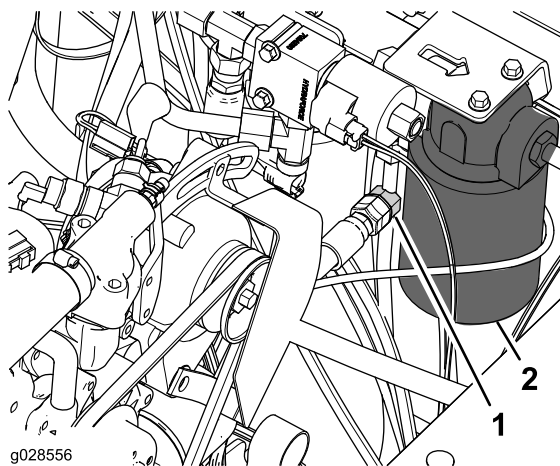


図 8

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. T 字フィッティング | 2. トランスミッションオイルフィルタ |
|---------------|---------------------|

5. T字フィッティング (図 8) に、ホース 3/8 x 55.6 インチを接続し、37 - 45 N・m (3.7 - 4.6 kg・m = 27 - 33 ft-lb) にトルク締めする。
6. 油圧オイルタンクの隣にある油圧チューブについているT字フィッティングからキャップを外す 図 9。

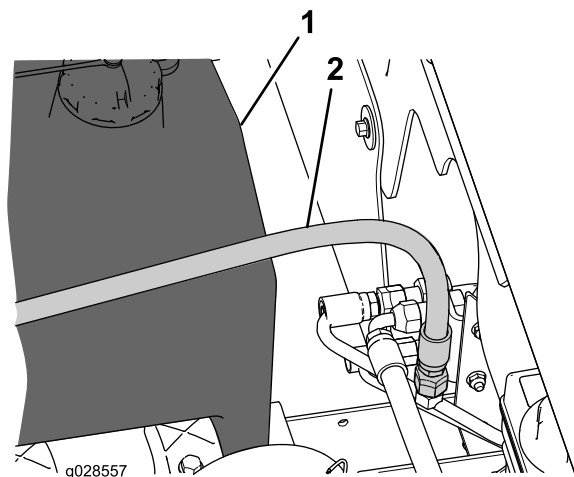


図 9

図を見やすくするために横チューブは描かれていません。

1. ホース端部 (T字フィッティングに接続されている)
2. 油圧オイルタンク

7. T字フィッティング (図 8) に、ホース 3/8 x 85.2 インチを接続し、スイベルナットを37 - 45 N・m (3.7 - 4.6 kg・m = 27 - 33 ft-lb) にトルク締めする。

4

PTOシャフトをトランスアクスルに接続する

必要なパーツはありません。

手順

1. PTO駆動シャフトの前ヨークの部分で、前ヨークのソケットと、トランスアクスルのPTO出力シャフトのスプラインとを嵌め合わせられるように整列させる 図 10。

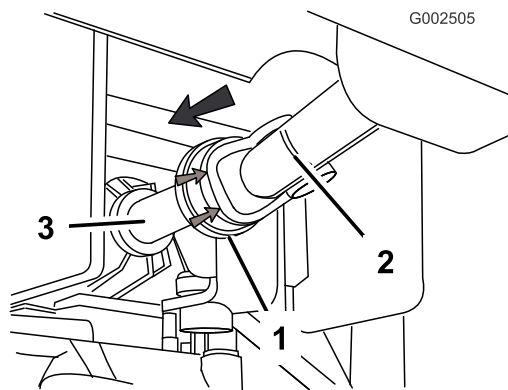


図 10

1. スプリングロック
2. PTO駆動シャフト
3. PTO出力シャフト

2. PTO 駆動シャフトの前ヨーク部についているスプリングロックゴム製カウリングを後ろに引く (図 10)。
3. 前ヨークのソケットを出力シャフトのスプラインに被せる (図 10)。
4. PTO 駆動シャフトの前ヨーク部についているスプリングロック前方に押す (図 10)。
5. 駆動シャフトの前半分を引っ張って、PTO 出力シャフトが正しく固定されているスプリングロックのロックボールが出力シャフトの溝にきっちりハマっているのを確認する 図 10。

重要 PTO駆動シャフトがPTO の出力シャフトに確実に固定されていることを確認してください。

メモ

メモ



Count on it.